



- ◎分権時代のまちの設計 → 何を制度化・条例化するか＝議会・行政と住民のルール  
分権自治体の理念とまちづくりの方向性  
参加・協働の手法と具体的な課題  
参加・協働の実効性担保と監視機関 など

## 2. 分権時代のまちづくりのルール

自治体における「まちづくりルール」＝「自治体の基本的なあり方」を定める

- 地方分権改革を契機に制定運動が活発化
- ・ 現行法の枠内での制定という制約
  - ・ 法律を逸脱しないということの意味（法環境の変化）

### ① 条例の基本的考え方

- ・ 基本理念 ・ 十日町の特性（基礎自治体としての位置づけ）

### ② 住民（市民）の権利と役割

- ・ 住民（市民）の定義 ・ 住民の権利と責務

### ③ 行政の役割

- ・ 市（執行機関）の役割と責務 ・ 市長の役割と責務 ・ 職員に関する事項（育成、啓発、責務等）

### ④ 行政運営と住民参加のしくみ

- ・ 総合計画の位置づけ ・ 行政手続 ・ 行政評価 ・ 財政運営の原則
- ・ 協働、参画 ・ 住民参加に仕組みと意見の反映 ・ 住民投票
- ・ パブリックコメント ・ 審議会、計画策定等における参加 ・ 外国人等の参加
- ・ 自治体行政サービスあり方についての基本的方向性
- ・ 自治体の他の条例の規範 ・ 住民の自治体政治への関与のルール
- ・ 住民参加のあり方 ・ 議会・行政の組織・運営の考え方
- ・ 行財政システムのあり方・改革の方向
- ・ 住民投票制度の考え方

## ⑤情報の共有

- ・ 情報公開、情報提供
- ・ 意思決定の明確化

## ⑥議会

- ・ 議会に関する基本事項、責務
- ・ 議会の情報公開、情報提供
- ・ 議員の責務

## ⑦条例の位置づけ等

- ・ 条例の位置づけ
- ・ 条例の体系化
- ・ 条例の見直し規定

☆十日町らしさをどのように具体化していくのか？（理念・計画・施策）

- ・ 他の自治体の事例の参照の仕方

## ◎ まちづくりルールの制定手続き

最もハードルが高い→住民投票を課す⇒条例の権威高めるが…

最も低い→議会議決

制定過程への市民参加 — 制定過程の公開

パブリックコメントなどの多用

住民への日常的な情報公開

意見の日常的な把握と参加

☆自治体議会との関係・パブリック・インボルブメント+α（市民討議会など）

### 3. 総合計画とまちづくりルール

計画行政の必要性 … 市民・住民のニーズにあわせて計画的に行政施策を推進していくことの必要性が増大

自治体の計画（行政計画）－ 総合計画（基本構想、基本計画、実施計画）

各分野別計画

分野横断計画

個別施策の建設計画 など

○自治体職員、市民・住民の認知度・理解度が問われる

職員 … 仕事の意義と目標の確認

市民・住民 … 地域社会の将来像とニーズ充足の目安

まちづくりルール（条例）－ 自治体における基本原則やルールなどについて定めたもの

### 4. まとめ－地方分権の時代にどのような自治体を構想するのか

◎自己決定・自己責任を担う地域の努力とローカル・ルールの必要性・重要性

→ 十日町市におけるまちづくりルールの効用と住民・行政協働のまちづくり